



追悼



クリスチャン詩画家

ありがとう

星野 富弘さん

刈りいれあとの<sup>た</sup>田んぼ





こうれつ  
後列左から五人め、<sup>した</sup>舌をだしている(小<sup>しょうがくせい</sup>学生)

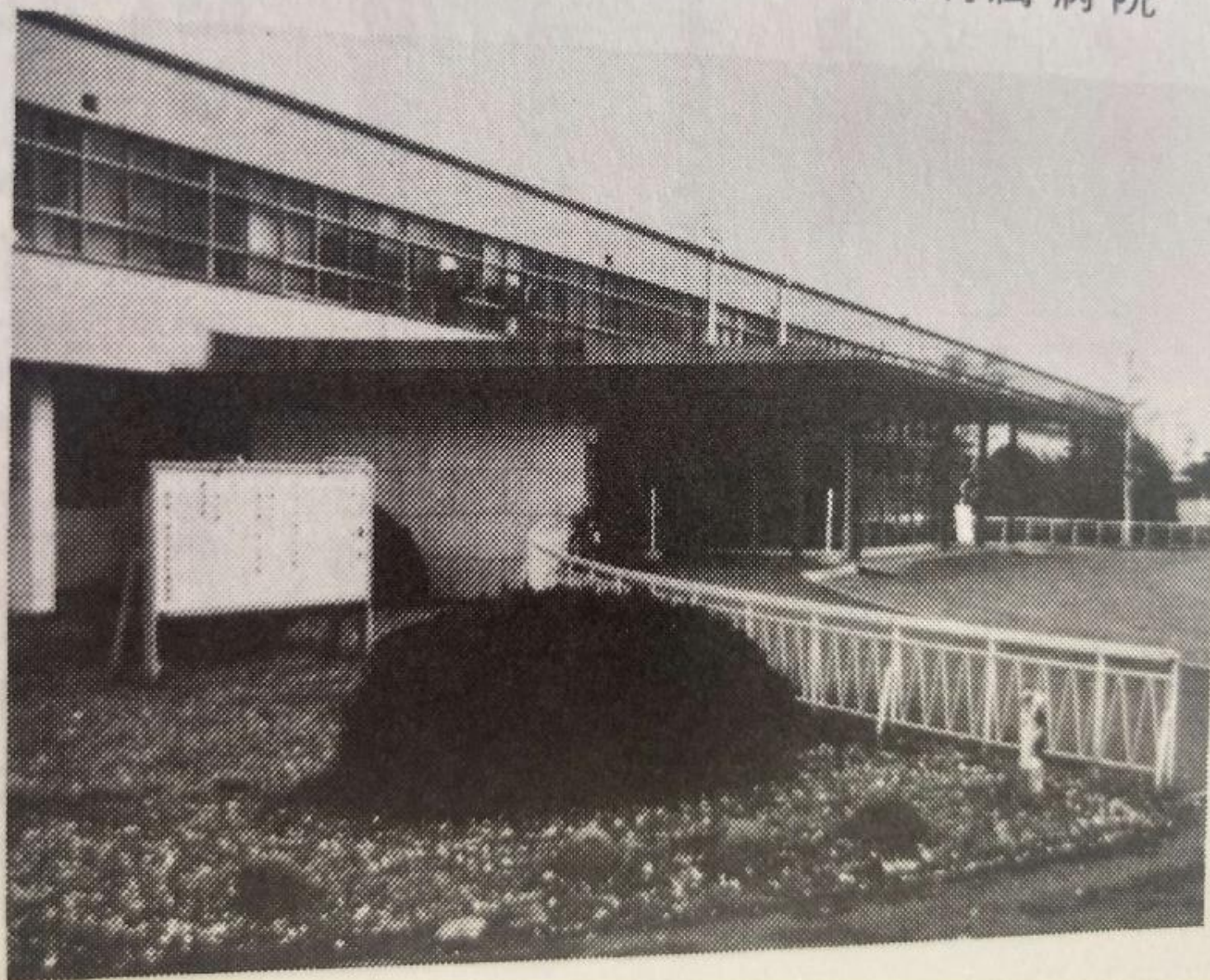


大学4年



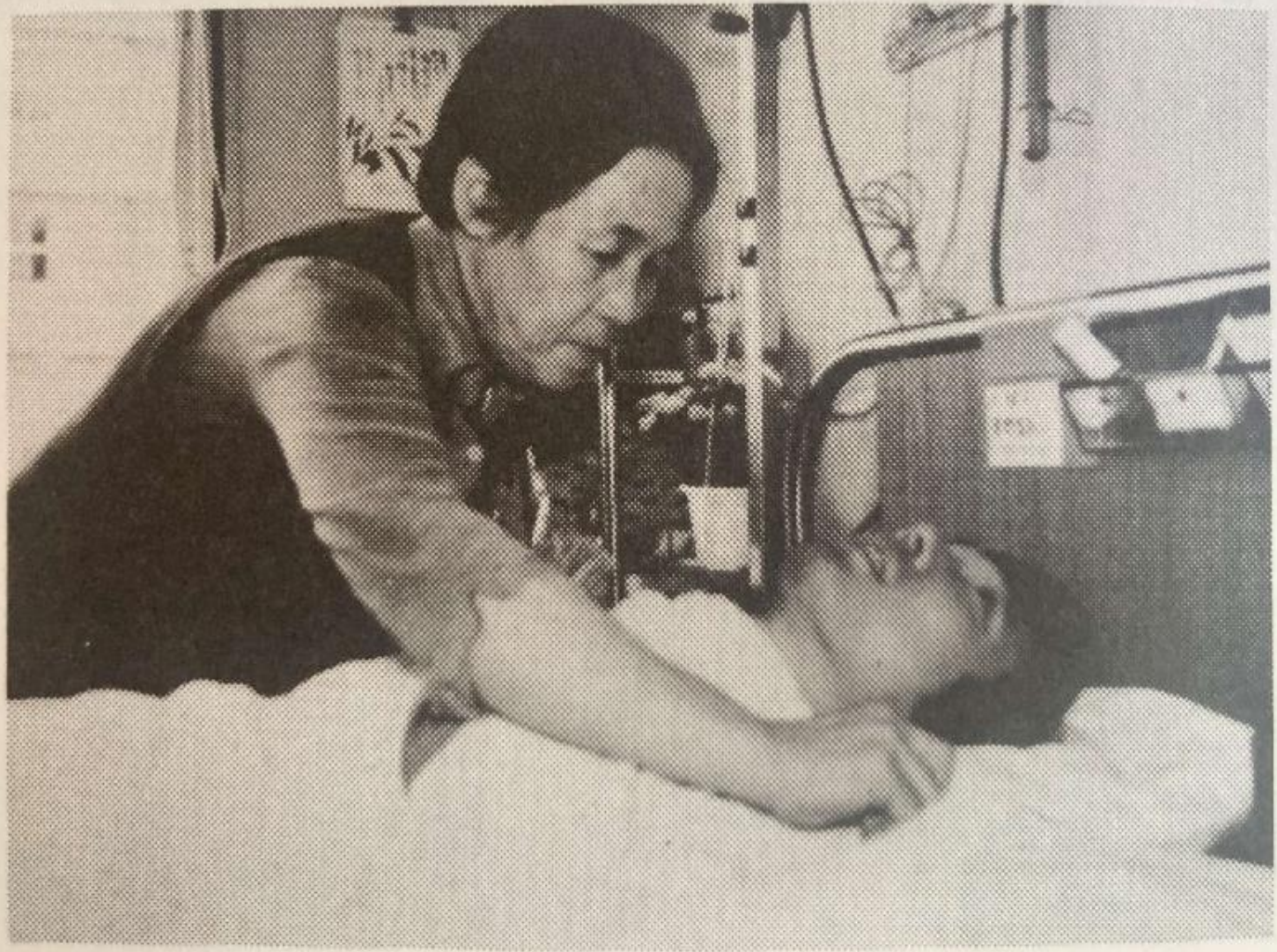


ぐんま だいがく いがくぶ ふぞくびょういん  
群馬大学医学部附属病院





かんびょう はは  
看病する母





M. KAMIMURA

闘志

M. Katano

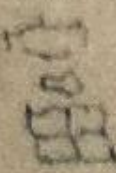
Heal

早く元気になつて又一しよに  
闘いませう 梶原野りもり

M. Kobayashi

進  
方

Handwritten notes and signatures on the left side of the paper.



カ ア  
 キ イ  
 ク エ  
 ケ コ  
 カ ア  
 キ イ  
 ク エ  
 ケ コ  
 カ ア  
 キ イ  
 ク エ  
 ケ コ

72年12月15日書いた!

1  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10



春夏秋冬  
 空星雲  
 野原村谷山屋  
 千九百七十二年  
 十二月二十八日  
 同室者  
 伊藤義正  
 小林海  
 川崎

春夏秋冬  
 空星雲  
 野原村谷山屋  
 千九百七十二年  
 十二月二十八日  
 同室者

伊藤義正

小林海

川崎

72年12月28日記 初めて書いた漢字。一字に何分もかかってしまう。 72年12月20日記







一月十二日

疲<sup>たい</sup>すべて痛水た人

重荷を負つて

いる人は、わたし

のところに来な

さい。

勇たしか、あなたが大

き休ませてもら

います。

マイヤンニヤン

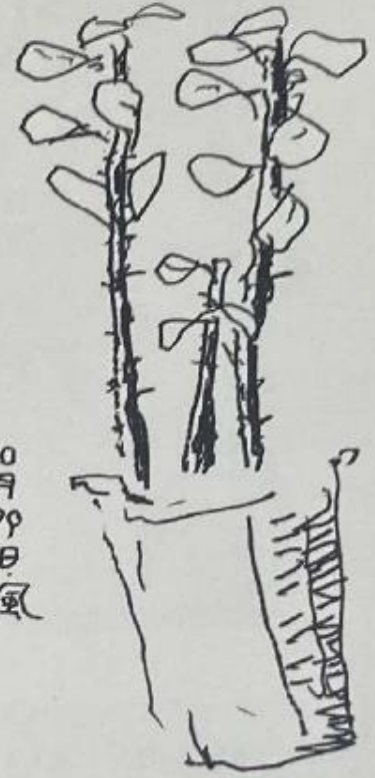
初めて出会った聖書の言葉を書く。

1月12日記



73年6月17日記

の月17日  
けだして3年  
なにがうたえましても  
たひんうしと思いたが休み



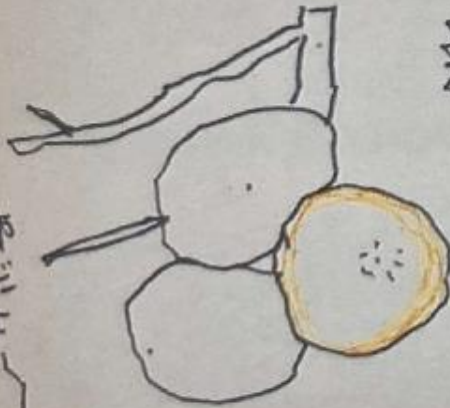
10月29日風  
花ギリこまかい

73年10月29日記

良一字を絵ま

さげや

二んちんも  
二もんだ



柿だよ

73年11月13日記







花だいこん / 75年画



グラジオラス / 74年画



ゆり / 74年画



黄色の花 / 75年画



黄ばら / 75年画





はじめて水彩絵の具を使って描いた絵  
すいせん／75年画















神様が 来た 一度だけ  
 一に 命を 奪った 下 たる と して  
 母の 命を 奪った 下 たる と して  
 風 に 揺らぐ  
 入る 入る 草の 集まる 風 吹く なら  
 くら なる 白が  
 本 当に 来る 下 たる 下 たる 下 たる



なずな / 水彩 / 79年画









花の絵画展  
in 富士見町  
2023年10月14日  
10月15日  
10月16日  
10月17日  
10月18日  
10月19日  
10月20日  
10月21日  
10月22日  
10月23日  
10月24日  
10月25日  
10月26日  
10月27日  
10月28日  
10月29日  
10月30日  
10月31日



# 花の絵画展

in 富士見町







星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの①

信仰

●祈り、みちびいた友

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」

星野さんがおしえてくれた「信仰」



「あのように」/野菊



星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの①

信仰

●祈り、みちびいた友

●墓地の白い十字架

「労する者、重荷を負う者、  
我に来たれ」

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」

星野さんがおしえてくれた「信仰」

昨日見ている  
空が空になった  
涙を流した友が祈ってくれた  
あの頃  
恐る恐る開いた  
マタイの福音書  
あの時から  
空が空になった  
空が私を  
見つめるようになった



「空」 / かりんの実



描くために

花をよく見ていると、

どんな花でも、

色といい、

形といい、

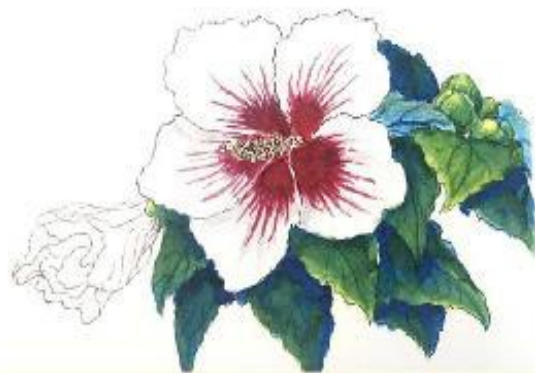
大きさといい、

それらを創られた

創造主の精緻な技と

センスの良さに

驚かされるばかりだ。



星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの②

希望



●だれかの役に立つ

・口にくわえた筆

・“自分が何をしていったら  
よいのかが、うっすらと  
見えるような気がしました”

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」



星野さんがおしえてくれた「希望」



「ひっそりと」 / シモツケ

星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの②

希望



●だれかの役に立つ

●いのちより大切なもの  
→永遠を見つめよ

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」



星野さんがおしえてくれた「希望」



「いのち」／おだまき

星野さんがおしえてくれた「希望」

ひとは空に向かって寝る  
寂しくて空を見上げ  
疲れきって空を見上げ  
勝利して空を見上げる

病気の時も

一日を終えて床につく時も

あなたがひとを無限の空に

「空」

永遠を見つめよう

いつているのでしようか

ひとは空に向かって寝る



「タイサンボク」



星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの③

愛



●家族の愛

- ・母、知野（ともの）さん
- ・妻、昌子さん

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」

星野さんがおしえてくれた「愛」

73年5月

ストレッチャーで裏庭に

行ってみた。(中略)

静かに空を見上げていた。

首を横に向けると、

雑草の中に

小さな母子草も

みえた。



母子草サインペン 73年5月記

「母子草」



ちかきり

おまへかも  
あまえかも  
しなたいぬ

あま

あま

あま

あま



れんげそう

星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの③

愛



●家族の愛

●神さまに愛されている

●コリント - 13:13●

「それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。」



星野さんがおしえてくれた「愛」

どんな人間でも、  
どんな状態でも、  
人は神様に  
必要とされている。  
大事にされている。  
聖書を読んで  
そう気づかされた時、  
「生きていてほんとうに  
よかった！」  
と思いました。



手を離さず 愛をこめて  
 目を凝らす 夜は静かに  
 木立の影に 花の香りを  
 感じる

神を祀る 心をこめて  
 祈りをこめて 愛をこめて



花屋  
 花屋  
 花屋

「愛されている」：シュンラン





「それゆえ、  
信仰と、  
希望と、  
愛、  
この三つは、  
いつまでも残る。」



●コリント - 13:13●

星野さんがおしえてくれた

ほんとうに大切なもの：番外編

# ユーマア

「何カ月か寝ていますがと、  
体の状態は変わらないけど、  
そういう中でも面白いことが  
出てくるし…、  
思わず笑ってしまう  
こともずいぶん  
ありました。」







「秋の夜」：ウラベニホテイシメジ



「それゆえ、  
信仰と、  
希望と、  
愛、  
この三つは、  
いつまでも残る。」



●コリント - 13:13●